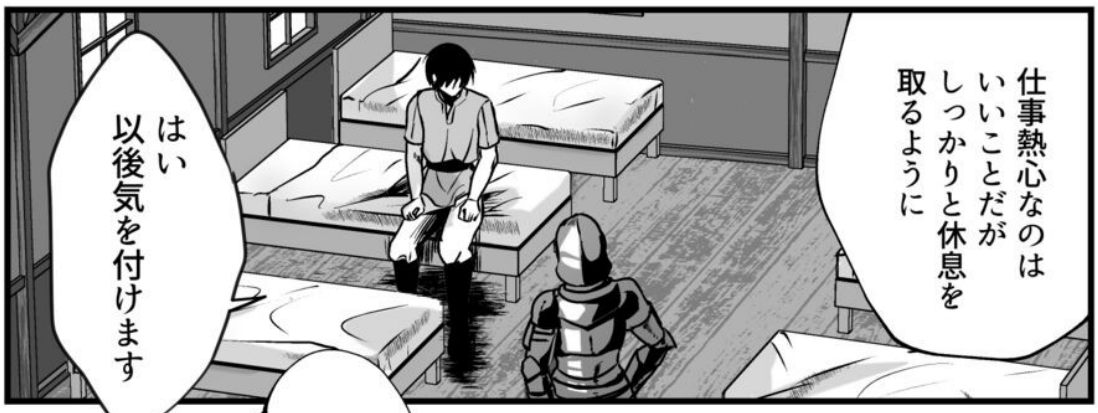
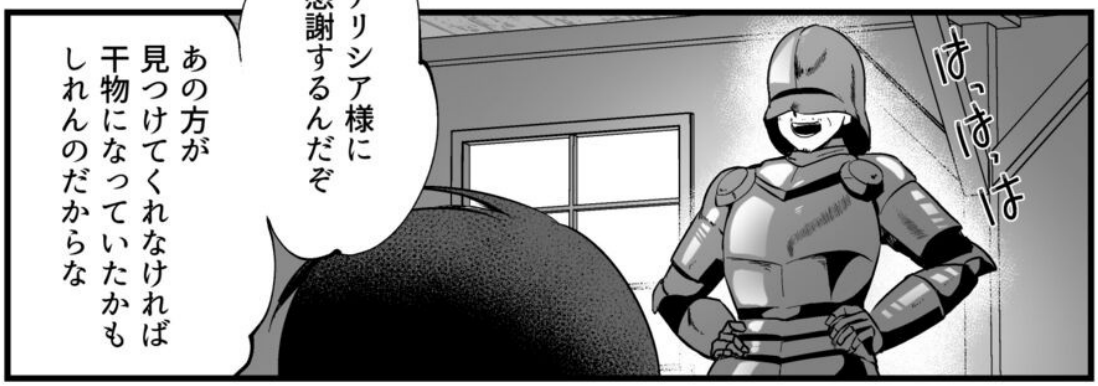



今日も町は平和そのものだな
これもアリシア様と騎士団の皆さまのおかげです
御身自らの警邏痛み入ります
いや、私の活動など大したことでは…
むっ？
ぱっ
そなた大丈夫か!?しっかりしろ！
う…うぅ…
意識はあるな誰かこの男を運ぶのを手伝ってくれ
ぐいっ
いたっ！
ポチッ
アリシア様!?
はっおいしっかりしろいま運んでやるぞ
い、いや大丈夫だ指に髪の毛が絡まっただけだ
それよりも早く彼を運ぼう


ただの
立ちくらみとは
お騒がせな男め
申し訳
ありません…

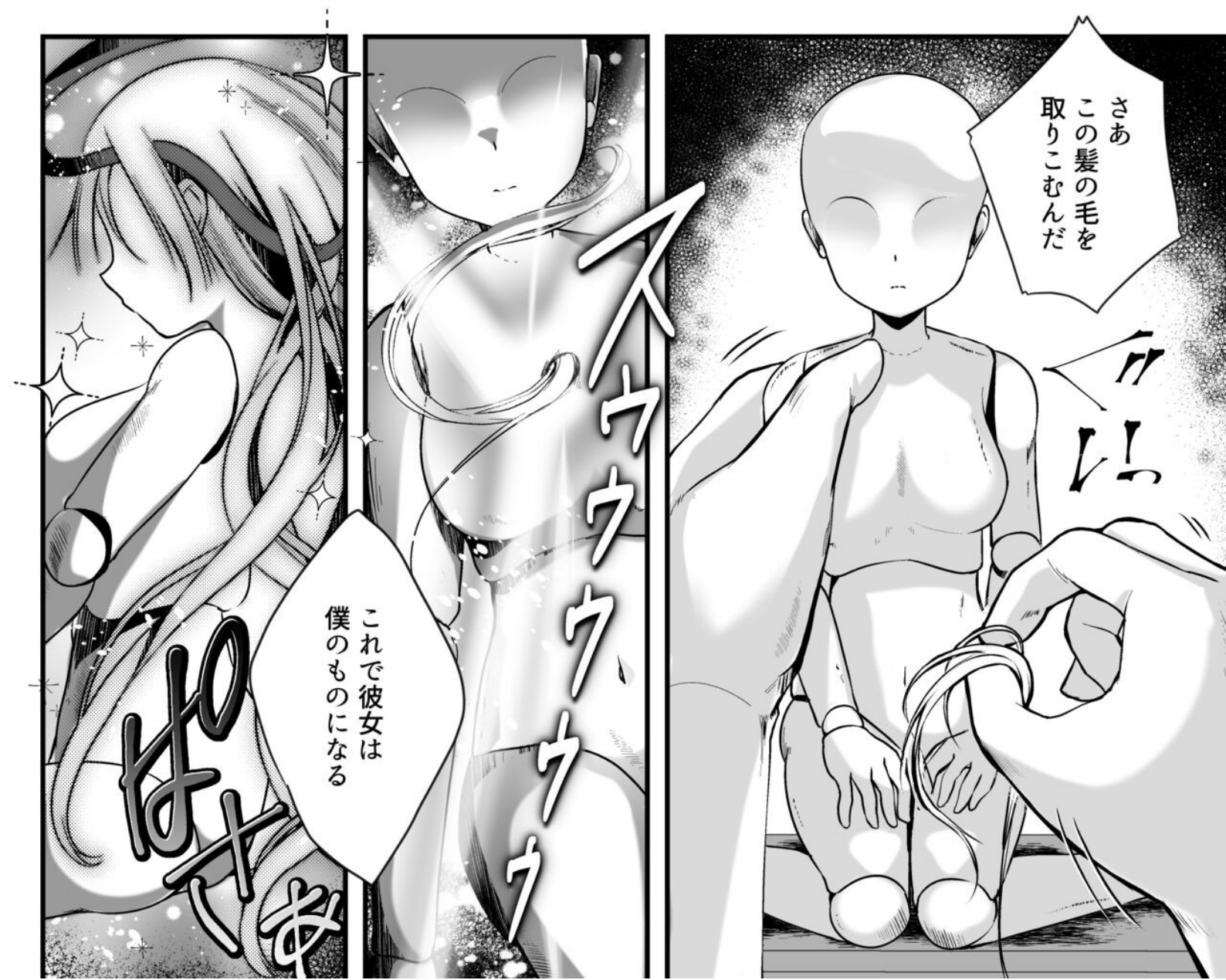

仕事熱心なのは
いいことだが
しっかりと休息を
取るように
はい
以後気を付けます


はっはっは
アリシア様に
感謝するんだぞ
あの方が
見つけてくれなければ
干物になっていたかも
しれんのだからな


はい
感謝します
あの人だけを
愛し続けます…
ボソッ


ん？
なんでもありません
お世話になりました
ふふ、
ふふふふ…


ついに
ついにやったぞ！
アリシアちゃんの髪の毛を手に入れた!!


さあこの髪の毛を取りこむんだ
これで彼女は僕のものになる
スウウウウウ
はぁぁ


ははっ
やっぱりだ！
キミは僕だけの
アリシア人形に
なったんだ
ああ、
なんて
素晴らしいんだ！
はやく
ハァ…
はやく
彼女に会いたい
もう
待ちきれないよ
くるり
アリシアちゃん…


はっ…えッ!?
ここは何処だ!?
からだが…っ
勝手に動く!?
声が出ない!
なんなのこれは!?
ガバッ
みんな～
もっと
私のことを見て～♡
視線で犯すように
見つめてくださ～い♡
な、ななな!?
なにを言っているんだ
私は!!


今日が初めてのお仕事ですけどぉ
だ、駄目だ…
口が勝手に喋ってしまう！
一生懸命ご奉仕するのでぇ
たぷんっ♡
ぷりっ♡
ふりっ
ふりっ
ご指名まってま～す♡
ばかっ♡
いったい何が起きているんだ!?
たぷんっ♡


アリシアです！
ご指名いただき
ありがとう
ございます！
ガチャ
くそっ…
指名されて
しまった…
いーっぱい
私のカラダで
ご奉仕させて
いただきますので
ムラムラを
発散させて
くださいね♡
ふふ
待っていたよ
アリシアちゃん
はぁ
はぁ
たぷん♡
どうして
身体が
動かせないんだ！
たったっ


早速だけど
僕のこれを
お世話して
くれないかな？
セックス
でっか…
え……？
ドキ
なにこれ
今からこれを
私が…？
ドキ
ドク
なにこれ
なにこれ
なにこれ!?
ドクン
ドキ
失礼致します♡
ドキ
熱っ！
このおちんちん
胸の間で
焼けているみたい…
たぷ
むにゅ
むちっ♡


ああん♡
お客様のおチンポでかすぎて
むちっ…♡
アリシアのおっぱいで収まりきれませぇん♡
く、臭い！
この匂いやばい
ちゅ♡
くんっ
ムワァ…
頭の奥に突き刺さるみたい
臭いだけじゃなくて嗅いでいるだけで脳みそがしびれて
アリシアちゃん優しくお願いね
はい♡アリシアのおっぱいお楽しみください
おふっ
ちゅ♡
ちゅ♡
くちゅっ♡
くちゅっ♡
何も考えられなくなる…！


はぁ…
たら～～♡
レロッ
はぁ♡
レロッ
やだっ！
ビクッ
れろっ♡
ビクッ
わたし
れろっ♡
にゅぽっ
レロッ♡
にゅぽっ
あっ…いいよ
アリシアちゃん
凄く上手だよ
ビクッ
知らない人の
おちんちん
舐め回してる…っ
はぁ♡
にゅぷっ♡
あはっ♡
そう言われると
アリシア
もっと
頑張っちゃいます♡
にゅぷっ♡
にゅぷっ♡
にゅぷっ♡
生臭い…
にゅぽっ
にゅぽっ
にゅぽっ♡
なのに
味は濃厚で
クセになりそう
じゅぽっ
じゅぽっ
ビクッ


美味しい…
たぷ♡
たぷ♡
たぷっ
今…っ
何を…!?
何を
考えていたの?
にゅぽっ
にゅぽ
でも…っ
この味…
はーっ…
レロッ
レロッ
ぐぽっ
ぐぽっ
だめっ
考えるな!
正気を保て!
あっ
アリシアちゃん
もう出そう…!
知らない人の
おちんちんが
美味しいだなんて
そんな…っ


ええ!?
待って！
ちょっと待っ…
だ…だめぇぇ
息がっ…
苦しい…
は…
はーっ
ビクッ
ビクッ
ゴポッ
ゴポッ
ぽこっ
ビクッ
ごくん♡
苦しいのに
おちんちんの
濃厚な味が
喉の奥に
広がって…♡
ビクッ♡
ごちそうさま
でした♡
どろっ〜♡


はぁ…っ
すごく
よかったよ
アリシアちゃん
はぁ…っ
はっ
ありがとう
ございます♡
アリシアも
ご奉仕できて
楽しかったです♡
続きは
僕の家でやろうね
屈辱的すぎる…
私がこんな仕打ちを
うけるなんて…
お持ち帰りですね！
オプション
承りました♡
さっそく
着替えて
まいりますね
ま、待てっ
はっ!?
お、お持ち帰り
だと…っ
少々お待ち
くださいませ♡
待ってくれ
私は…


素敵な
お部屋ですね
この部屋で
これからアリシアが
めちゃくちゃに
されると思うと
興奮しちゃいます♡
うぅ
また破廉恥なことを…
…アリシアちゃん
もう普通に
喋っていいよ


はっ
あッ
あぁ
しゃ…
喋れる…！
僕が許可したからね
素の君に
会いたかったんだ
きょ、
許可だと…？
ではこの一連の
事態は貴様の
仕業なのか!?
そうだよ
君はもう
僕の所有物なんだ
なんでも
いうことを
聞いてしまう
こんな風にね
ふふふ…
なっ…!?
か、身体が
勝手に…！


あそこの人形が見えるかい？
あの人形には君の髪の毛が入っているんだ
僕は人形師でね
魔法の糸で人形を操ることができるんだ
それは君の人形も例外じゃない
そ、そんな…!?
こんなの何かの間違いだ…！
むにゅ♡
間違いじゃないよ全て事実だ
さぁ、アリシアちゃんキスをしよう
むにゅ…♡
もちっ♡
恋人のように熱い濃厚なキスをね
誰が貴様なんかと…
絶対に嫌だっ！


さぁ
舌を出して
無駄だよ
あ…
ちゅ
あ…
ちゅ♡
うぅ…
駄目だ
逆らえない…っ
れろ
あ…
ねっとりと
舌を絡ませ
合おうね
くちゅ…
はあ…あ…
くちゅ♡
くちゅ…っ
嫌だ…っ
んっ
ぐちゅ♡
気持ち悪い…っ
ん…
はぁ
はぁ…
あんっ
ちゅぷ
ちゅぷ
こんな
最低な男と
キスなんて…っ


あ…
良い乱れっぷりだよ
アリシアちゃん
ちゅ
はぁ
唾液が…
私のなかに
入ってくる…っ
んっ
んちゅ
ほら
口を開けて
もっと
僕の唾液を
注いであげる
ぷはっ
あ…
あ…
んぐっ
んっ
ぴちゃ
は…っ
ぴちゃ♡
なんだ…
身体が熱いっ
ん…っ♡
くちゅっ♡
あっ♡
くちゅっ
くちゅっ♡
くちゅっ…♡
そういえば
先ほども…
あぁ♡
はぁ…っ
唾液を飲まされて
興奮している…？


ち、違う！
流されるな
アリシア！
ウェッ
ゴホッ
ゴホッ
うっ
うぐっ
気持ちいい
キスだったね
アリシアちゃん
き、貴様…
絶対に
許さんぞ…！
ふふふ
その割には随分
情熱的だったね
それは
貴様が…！
ほら早く
服を脱いで
続きをするよ
うぅ!?
ぱぁあ
ぱさっ
うぁあ
か、からだが…！
咥えて
ビクンッ…♡


あ…
はぁ
またこのおちんちんを…
んむっ
れろっ♡
れろ〜♡
んっ…
ちゅ♡
うぅ…
くさいけど
くさい…
ちゅ
んむ……
はぁ…♡
どうして…
あ…っ
ほ…っ♡
どうして
ちゅぷっ♡
じゅぷっ
じゅぷ
じゅぷ
はぁ
ちゅぷっ♡
んっ♡
ちゅぷっ♡
んっ…♡
はー…♡
ちゅぷっ♡
こんなに美味しいの…!?


いいよ
チンポの扱いが
上手だね
なで
んっ♡
はぁ…♡
じゅぽ
じゅぽっ
ん……♡
アリシアちゃん
じゅぷ
じゅぷ
んん……ッ♡
そうそう
しっかり
咥えこんで
丁寧に
舐めてね
じゅぷ
じゅぷ
ぬぽっ♡
ぬぽっ♡
ぬぽっ♡
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
んんっ
射精すよ…ッ！
全部飲んで…！
なにも
考えられない…
じゅぽっ
じゅぽっ
じゅぽっ


最高だよ
アリシアちゃん
君は本当に
素敵な女性だ
はぁ…
ぷはぁ
はぁ…
ビキッ
な、なに…？
この感情は…？
トクッ
トクッ
身体の内側から
熱くなっていく…
ドクン♡
トクン♡
彼を見ていると
疼きが
止まらない…
おぁ～…♡
そろそろ
お待ちかねの
本番と行こうか
そうだよ
僕に媚びるように
お尻を振るんだ
こんな
はしたない真似…
ぷりん♡
ぷりん♡
ぷりん♡
でも…
なに…？


私…
嫌じゃない…？
ちゅ♡
これから
いっぱい
ここに
注ぐからね
アリシアちゃん
むしろ
嬉しい…？
そわ
そわ
行くよ…ッ！
びくんっ♡
たぷんっ♡
ビュルルル


あんっ
ばんっ
ばんっ
あぁっ♡
ばんっ♡
あ…
ビクッ♡
あぁっ♡
すぐにイカせてあげるよ！
ビクッ♡
ぱちゅんっ♡
ぱちゅんっ
あはぁ♡
は…♡
ビクッ♡
あん♡
たぷん♡
たぷん♡
ズプッ
ズプッ
ズプッ
あん♡
アアッ♡
気持ちいい…
あぁっ♡
気持ち良すぎる…！


ほらっ
イキなよ…！
あっ♡
ビクッ♡
はぁ♡
こんなの
激しすぎる
すぐに
イっちゃう…！
ズポッ♡
ズポッ♡
ズポッ♡
ズポッ♡
イケ
イケッ
あぁッ
あぁ♡
ぐちゅ♡
ぐちゅ
イケ…ッ！
チカ
チカ
はぁ♡
ズポッ
ズポッ
ぱちゅんっ
おおぉっ
おおおおお
ドクッ！！


はぁ…
まだまだ終わらないよ
今度はアリシアちゃんが動いて
もっと
上手くいった
巨乳が揺れていて最高の眺めだよ！
あっ♡
たぱ～
ぶるっ♡
すちゃっ♡
はぁ…♡
あなたのチンポも素敵よ♡
すちゃっ♡
魔法の糸で操れるのは身体だけじゃなかった
心も操ることができたんだ！
はぁっ♡
ふふっ♡
そうね最高の夜にしましょう！
ビクッ♡
ん…♡
はぁ…♡
たぷん♡
すちゃっ♡
いいよ最高だよっもっと楽しもうアリシアちゃん！
はぁ♡
ああ♡はぁぁん♡
もっと気持ちよくなりたい…
もっともっと愛されたい…！


僕は糸を通して
ずっと理想の
アリシアちゃんを
妄想していた
彼女に
こうなって
ほしいと
おっ♡
びくっ♡
ぐぽっ♡
ぐぽっ♡
おん♡
ぐぽっ♡
むにゅ♡
するとどうだろう
セックスを通して
彼女の心は
アジャストされた…！
僕に従順で
セックスが
大好きな
えっちな
アリシアちゃんに
なったじゃないか！
ちょっとぉ
急に
揉まないでよぉ♡
ごめんね
目の前でこんな
立派なのが
揺れてたら
我慢できないよ


もう…♡
しょうがない…
わねっ！
ぽちゅん
オホッ♡
ばんっ♡
ばんっ♡
ばんっ♡
うぁ
ああっ
ぶるっ
ぶるっ
ぶるっ
お♡
おっ♡
おっ
射精る…！
ズロッ
ズロッ
ズロッ
ズロッ
くうぅっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ぎゅうぅ♡
ぎゅうぅ♡
中に
出してぇ…！
出してぇ！
ひぃ♡
ひぃ♡
ぁぁぅぅぅぅ♡
ぁぁぅぅぅぅ♡
ぁぁぅぅぅぅ♡


はぁ…
素敵だよ
はぁ
はぁ…
はぁ…
ビクッ
ビクッ
はぁ…
最高ね
はぁ…
ねぇ…
キスして…
ちゅ♡
うん…
んふっ
んっ♡
うんっ♡
いっ
帰りたくない…
お城に戻ったら
また退屈な
職務が待ってる
ずっとあなたの
傍にいたい…
大丈夫…
大丈夫だよ…
ずっと
僕の傍に
いていいんだ…
本当…？
アリシアが
望むだけ
いていいんだ
もちろんだよ


あぁ…
嬉しい！
大好き！
大好きよっ！
ずっと
傍にいるわ！
ぎゅ
永遠に
一緒にいよう…
僕もだよ
アリシア
ここはもう
僕たちだけの楽園だ







